

港北区災害ボランティア連絡会ニュース

事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸 13-1 吉田ビル 206 港北区社会福祉協議会

第 19 号

TEL 045-547-2324 FAX045-531-9561 E-mail info@kouhoku-saibora.net

2014 年 4 月

HP <http://www.kouhoku-saibora.net>

入会は随時受け付けています。あなたの町の防災度を高めるにお力を貸して下さい。

平成 25 年度災害ボランティア連絡会活動報告

4月定例会・会長挨拶。参加団体の連絡員の変更。25年度の事業計画について

5月総会・役員、平成24年度の事業報告、会計報告、平成25年度の事業計画、予算案の承認

会員が所属するタスクを決定

- ・菊名らしくらく市で広報活動
- ・井上会長と港北区長の懇談
- ・神奈川県・川崎市災害対策本部見学

6月定例会・区役所より防災マップ改訂の説明。タスクの活動についての要望。

タスクごとの意見交換

・横浜災害ボランティアネットワーク総会出席

7月定例会・各タスクの活動報告

8月・横浜災害ボランティア会議主催の図上訓練に出席

9月浦安市災害対策見学ツアー

10月コーディネーター養成講座開催



・高田地区運動会で広報活動

- ・定例会・台風のため中止
- ・北綱島小防災訓練で広報活動

11月定例会・非常時連絡法の確認。

*10月定例会の中止連絡の際、連絡網がうまく機能しなかったため、平時のみならず災害時にどうするかも含めての論議となった。パソコンのメーリングリストを使い始めることにする。

「平常時に使えないものは災害時に役立たない」を実体験した。

各タスクからの報告

・[PR] 新田地区センター文化祭、太尾宮前地区合同避難訓練で広報活動

12月・高田東小防災訓練で広報活動

災害ボランティアシミュレーション

ボランティアセンター運営体験

定例会・区役所より港北区防災計画の変更について説明。各タスクの活動報告

1月・横浜消防出初式参加

・かながわ・よこはま防災ギャザリング 2014 に出展

定例会・各タスクの活動報告。次年度に向けての意見集約

・災害ボランティアスキルアップ研修に参加

2月災害ボランティアセミナー・セヶ浜社協の星さんの講演

午後はパネルディスカッション

定例会・セミナーについての感想を話し合う

3月定例会・25年度の各タスクの振り返りと26年度事業計画。備品の整理

第 11 回定例会報告

平成 26 年 3 月 19 日 (水) 10 時～

港北区福祉保健活動拠点多目的研修室

出席者：井上会長（港北区ボラ連）、萩生田（区役所）、富士塚ボランティアグループ、国際救急法研究所、手話サークル梅の会、手話サークルあじさいの会、一般社団法人ペガサス、仲手原マザークラブ、個人 6 名、片桐、山本、(区社協) 合計 16 名 記録=和田

1 会長挨拶

災ボラに関わっている方は災ボラの大変さを知っているが、イベント等に参加されていない地域の方々に知っていただきたい

来年度は区役所又は拠点の運営委員長さん方との連携を計りたい

区役所

来年度の予算→例年通りに予算立てしていますので有効活用して下さい。

協定書の協議が遅れていて申し訳ありません。

2 各タスクより平成25年度活動の総括

●シミュレーションタスク

*昨年度の反省を踏まえながらボランティアセンター運営のシミュレーションを行った。

*参加者は少なかったが一般の若い方も防災の意識が高く内容のあるシミュレーションができた。

*来年度は貴重な意見を踏まえてハンドブックの改訂

*区役所・地域防災拠点などと連携した本部・情報機能のシミュレーションを実施したい。

*区役所の防災担当の方とも連携を計っていききたい

*被害によって他施設での災害ボランティアセンターの場所の確保が必要だが、そのためには日常の防災面でのおつきあいが大切

●イベントタスク

*今年度は浦安バスツアー・養成講座・セミナーと3回の企画を行った。

*来年度はDブロック(青葉区、都筑区、緑区、港北区)との連携を計り顔の見える関係を作っていきたい。

●PRタスク

*次年度は地元のニュースを取り入れ多くの方に読んでもらう。

*ホームページ立ち上げたがもう少し見やすく。

*被害予測のPRボードに町名を入れて、もっと分かりやすくする。

*会員の名刺と会員証を印刷。

*広報活動は会員が配布する他、9カ所のケアプラザにお願いしている。

●会計

*カセットボンベ式発電機を発注した。

*来年度に向けての予算をタスクチームで出してほしい。

*活動保険→変更になった方、新しく会員になられた方は3月中に掛けます。

●その他

*Dブロック(青葉区・緑区・都筑区・港北区)4区で4ヶ月に一度の顔の見える情報交換するので、積極的に参加してほしい。

*区役所の4階防災倉庫と社協の倉庫を二手に分かれて整理する。

*港北区社会福祉協議会の片桐さんが3月31日付けで退職されます

●夜間定例会の開催について

*10月15日18時30分~20時30分で開催。

・会員の希望に夜間開催が多かったことを受けての対応です。十分な周知をして参加者の拡大につながることを期待されます。

市災ボラDブロック会議報告

市災ボラブロック別会議は、近隣各区の災ボラが情報交換を行うことで、いざという時に相互に協力できるようになることを目的にしています。Dブロックは緑、青葉、都筑、港北で構成されています。2月17日に緑区社協を会場に第一回のブロック会議がもたれました。

1 各区の現状報告

区の災対の下部組織に位置づけられており、今年度中に協定締結の予定(青葉区)。

発足時に地域防災拠点から役員を出してもらっている。その人の任期が切れても災ボラコーディネーターとして残ってもらえているので拠点との連携は取りやすい。連携班を設け、災ボラセンターから拠点まで歩いて訪問し、拠点運営委員に話を聞く取り組みをしている。相互理解の役に立っている(都筑区)。

区役所が中心になってコーディネーターを養成、区防災ネットワーク部会を基盤にして災ボラ組織化を目指している。区社協とは協定を結んだ。災ボラが結成されたら3者協定に変更する(緑区)。

発足の経緯から障害者ボランティア団体が多いのが特徴。被災地活動経験者が熱心に動いている。PR活動を積極的に行っている(港北区)

2 質疑

●ボラセンを設置した後どのようにして災対本部と情報共有するのか

- ・防災無線だが、混線したり一方的になったりと使いにくい。
- ・徒歩で持参すると言われたが、近くても実際的ではないだろう。

●拠点や災対との関係、情報の収受について

- ・拠点にニーズ票を渡し、それに基づきコーディネーターが聞き取り調査する。
- ・拠点に配置されているPHSと防災無線を使って訓練した。
- ・災ボラメンバーに拠点役員がいる。関係者がいる拠点の訓練には災ボラの広報をしている。

3 その他

- ・もっと積極的に情報収集や拠点との関係作りに励むことが必要

- ・ 区のボランティア担当の姿勢で状況が変わってしまう。
- ・ Dブロックは交通の重要拠点が多い（東名インターや新幹線）ので、そこをボランティア受付拠点にして各区に派遣して良いのではないか。

など様々な意見が飛び交かう、経験交流の重要性を感じさせられた有益な会でした。

障害者防災を考える会

一何が必要か見えてきたー

「逃げ遅れる人々」の上映を中心に行ってきた障害者防災事業のまとめとして、3月21日かながわ県民活動サポートセンターにて講演とワークショップの集いがもたれました。

大阪の障害者防災団体、ゆめ風基金の八幡理事からは「東日本大震災等に学ぶ障害者の防災」と題して、現地救援活動から見えてきた問題点があげられました。

東北ではもともと大きな福祉法人が施設中心の福祉サービスを担っており、多様なサービス展開が無く、地域で暮らす障害者が少ない地域特性があった。車いす利用者以外は障害者と思われなため、避難所で聞き取り調査をしても「障害者はいない」との結果が出る。しかも避難所は身動きもできない程の混雑で車いす利用者は結局壊れかけた事務所に戻ったり、車で寝泊まりしたりの実態があった。

仮設住宅はバリアフル構造で、後付けのスロープはやはり役にたたなかったり、ユニットバスでは車いす利用者や高齢者はどうしようもないなどの指摘がありました。その上で今回の震災で問題となった二点、名簿の取り扱いと福祉避難所設置についてはなされました。



災害対策基本法の改正で自治体に対して名簿の作成が義務付けられましたが、要援護者名簿作成はどこでも難渋しています。その理由と

して出すメリットが感じられないことがあげられます。同じことが福祉避難所にも言えます。一次避難所の様子を見て二次避難所として福祉避難所を開設する運びになる（港北も同じ）訳ですが、そもそも一次避難所にどれだけ障害者がいくか。行かない、行けない現実がある。そこを見据えた対策を立てなければダメ。そのためには障害者も防災訓練に出ること、運営側が障害者を知ること、障害者支援センターを作ること、が大事だと話されました。

地域で障害者も参加する防災訓練に取り組んでいる、いたばし総合ボランティアセンター副所長の神元さんからは、当事者団体との話し合いを重ねて作り上げた訓練について話されました。



当事者団体との協同の体験学習をすることで初めて分かる困難点（道路の段差、ガードレール、時間のかかり方の違いなどなど）を確認した上で、避難所のあり方を考えあったり、町内会、児童館、保育園、学校関係者、障害者団体、地域包括支援センター等が参加しての防災・減災合同体験を実施。これには消防、区役所防災課が協力した。これらの積み重ねの上に3年目に、災害時の助け合いも課題に入れた「いたばし まちの学校」を開催。具体的な付き合いを重ねて、当事者も含んだ宿泊訓練をするにまで至った報告を受けました。

お二人の報告を受けてグループワークを行い、どんな困難があるのか、何ができるのか、何をして欲しいのか、を考えあいました。聴覚や視覚に障害を持つ方や支援者もいたので、具体的に困難点を知ることができましたが、それは裏返せば普段出会っていないことを意味しています。日常の積み重ねが無い中で、災害時のあの大混乱時にうまく対応できないのは明らかです。2本のレポートと参加者の反応から痛感させられました。

会員紹介 「ペガサス」

港北区富士塚で、精神障害と発達障害の方の就労移行支援事業を行っております、一般社団法人ペガサスの代表の木村と申します。

ご縁があって、昨年1月から現在の場所（富士塚2-24-5）で事業を開始いたしました。それまでは、生まれも育ちも仕事もすべて東京でした。災害時に、6人のスタッフと約30人の利用者を、土地勘の無い場所でどう守っていったらいいのだろうかという漠然とした不安があり、このたび参加させていただきました。

私自身約12年間、障害種別で言いますとすべての障害者の就労にかかわる事業を行ってきており、災害時要援護者のその部分では何らかのお役に立てるかと思っております。また、弊社は住宅街にあり、周囲には高齢者や女性、子供など、多くの災害時弱者も多くいらっしゃいます。弊社としてそういった方々のために災害時にお役に立つためにも、まずは地域の支援システムを知る必要があるとも考えております。

このような動機で入会させていただきました。少しでもお役に立てるよういろいろと学ばせていただきたいと思っております。今後とも、よろしくお願いいたします。

二月大雪に地域は

横浜でも雪が溶ける前にまた雪が積もる状態でしたが、普段雪害など発生しない山梨や群馬で災害ボラセンが立ち上がるほどの被害が発生しました。

東日本大震災でボランティア経験を持った人々が現地支援に行った例も多かったようです。その経験が生きた場面も多かったのですが、いわゆる「ガテン系ボラ」の活動に現地が振り回された場面もあったようです。泥だしとか、除雪は目の前で具体的に活動成果が見えるので達成感が大きいのですが、それを目的するのは本末転倒です。ボラセンでのオリエンテーションの果たす役割が重要な所以です。

ところで皆さんの地域での雪かき活動は、誰が、何時行ったでしょうか。こんなところで地域力が試されます。

次回は総会です。
今年度の計画を決める大事な会です。
日時：4月19日（水）10時～
会場：港北区福祉活動拠点

役に立つ災害本

わがまち港北

平井誠二 「わがまち港北」 出版グループ

この本は港北区の歴史、風土、建物、人物などについて子供でも読める平明な文章で書かれたものです。自分の住んでいる地域を知ることでも防災にも役立つと思います。

港北区の最大の課題は鶴見川の水害対策でありました。

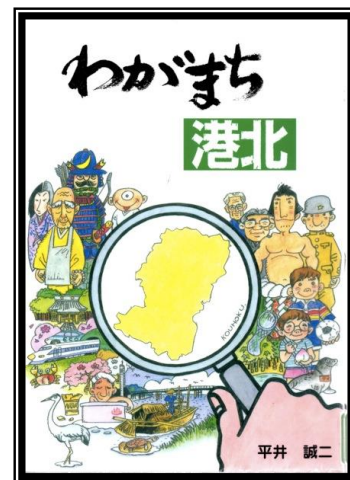
治水対策で近年は洪水も起こっていませんが、最近の巨大台風が直撃したらどうなるかわかりません。万全の備えが必要です。

また関東大震災についての記述も有益です。篠原地区の地盤の固い丘と低湿地の場所の境で液状化現象が起きたそうです。鶴見川流域の低湿地に多くの溜池が作られていたようで、溜池や水田を埋め立てた地域は地盤が軟弱で地震には注意が必要です。

この本に紹介されている横浜市中心図書館のホームページで古地図のページを見ることができしますので自分の家が昔どのような場所に建っているのかを調べましょう。

この本は普通の本屋さんにはないかもしれませんが、港北区の図書館や地区センターにありますので一度読んでみてください。また大倉精神文化研究所のホームページで読むこともできます。

(山本)



編集後記

- ☆ 雪害ボランティアが関東でも活躍した異常気象です。どのような事態にも素早く対応する感覚が必要ですね。(宇田川)
- ☆ 3.11 慰霊祭の花を届けに久之浜に行ってきました。防潮堤のかさ上げ、防災緑地の土盛り、地域の除染、支所・公民館の取り壊しなど復興に向けて町の様子が変わっていました。(山本)
- ☆ 陸前高田物産展 (SAVE TAKATA) の販売ボランティアを初体験。米粉のお焼きがとっても美味でくせになりそうです。食べて支援！ちょっと太りそう・・・(山口)
- ☆ 三陸鉄道が開通しました。お祝いムードなので、皆さん遊びに行きましょう。(野田)